

事業名	アオノリ養殖概況
予算区分	県単
事業実施期間	平成12年度～
担当者	(環境増養殖担当) 笠井謙太郎
共同研究機関等	

<目的>

本県のスジアオノリ養殖業の生産状況を把握する。

<方法>

漁業者から生産状況について聞き取り調査を行うとともに、徳島県漁業協同組合連合会における共販実績を整理した。

<結果>

例年どおり10月上旬から天然採苗が開始され、概ね順調に採苗が行われた。本養殖開始後は、11月中の入札には至らなかったものの、漁場によっては12月後半から比較的順調に生長しまとまった生産となった。12月末からは大きく生長し、1月から2月上旬にかけて生産量が増加した。

令和4年度漁期の生産数量は45,739kgで、前年と比較して125%と増加した。一方で平均単価は7,428円/kgとなり、前年比56%と大きく下落した。

<今後の課題>

スジアオノリ漁場における調査で得た環境データと漁場ごとの生産状況から、不作の原因を検討していく必要がある。

<次年度の計画>

引き続き生産状況の把握に努める。

<結果の発表・活用状況等>

特になし

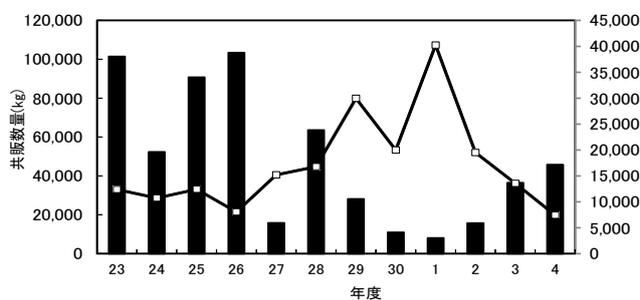


図1. 年度別共販数量と平均単価の推移

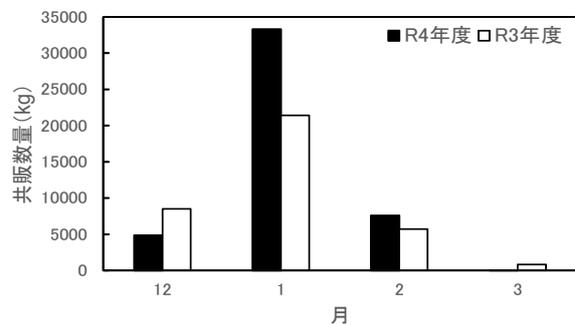


図2. 共販数量の経月変化